

公開実用 昭和63- 184513

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭63-184513

⑬ Int.Cl.⁴

H 01 B 17/58

識別記号

庁内整理番号

C-7227-5E

⑭ 公開 昭和63年(1988)11月28日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 グロメット

⑯ 実 願 昭62-74804

⑰ 出 願 昭62(1987)5月19日

⑱ 考 案 者 寺 山 孝 神奈川県横浜市緑区鶴居4-62-24-206

⑲ 出 願 人 スタンレー電気株式会社 東京都目黒区中目黒2丁目9番13号

⑳ 代 理 人 弁理士 秋元 輝雄 外1名

明 細 書

1. 考案の名称

グロメット

2. 実用新案登録請求の範囲

板状部材の開口部に弾性を以て嵌着される嵌着部と電線を前記開口部を通過させるように保持する電線保持部とから成るグロメットにおいて、前記嵌着部と前記電線保持部は別体に形成され、樹脂部材で形成され前記開口部に嵌合する外径の円筒状で周縁部にフック状継合部が設けられると共に端部に前記外径よりも大きい鐔状部が設けられた装着部の前記鐔状部にゴム部材で形成された電線保持部を嵌着し一体としたことを特徴とするグロメット。

3. 考案の詳細な説明

【産業上の利用分野】

本考案は車両用灯具など車体の外側に取付けら

れる部品に配線を行うときに車体内の防水を行う
目的で前記車体の開口部に取付けられるグロメッ
トに関するものである。

【従来の技術】

従来のこの種のグロメット20の構造を示すも
のが第3図であり、このグロメット20は全体が
一体にゴムなど弾性に富む部材を用いて形成され、
周縁部に車体21の板厚と開口部の径にほぼ合致
する摺割溝が設けられて嵌着部20aとされ、中
心部に電線22を通過させるための適宜数の電線
孔20bが設けられて電線保持部とされるもので、
車体21に嵌着するときはこのグロメット20が
形成された部材の弾性を利用して前記嵌着部20
aを変形させて行うものである。

【考案が解決しようとする問題点】

しかしながら、前記した従来の構造のグロメッ
トは、

第一に取付作業のときに形成された部材がゴム
など極度に軟質であることで嵌着時の手応えに乏
しく確認が困難で、この理由によりしばしば不完

全な取付状態とされる作業上の問題点。

第二に前記電線 22 に引張りなど力を加えると前記嵌着部も脱落すると云う使用状態での問題点を生ずるものとなり、結果として目的とする防水効果が不完全となり易いものであった。

【問題点を解決するための手段】

本考案は前記した従来のグロメットの構造に生ずる問題点を解決するための具体的手段として、板状部材の開口部に弾性を以て嵌着される嵌着部と電線を前記開口部を通過させるように保持する電線保持部とから成るグロメットにおいて、前記嵌着部と前記電線保持部は別体に形成され、樹脂部材で形成され前記開口部に嵌合する外径の円筒状で周縁部にフック状継合部が設けられると共に端部に前記外径よりも大きい鐐状部が設けられた装着部の前記鐐状部にゴム部材で形成された電線保持部を嵌着し一体としたことを特徴とするグロメットを提供することで、前記従来の問題点を解決するものである。

【実施例】

つぎに、本考案を図に示す一実施例に基づいて詳細に説明する。

第1図に符号1で示すものはグロメットであり、このグロメット1は本考案により樹脂部材で形成された嵌着部2とゴムなど弾性に富む部材で形成された電線保持部3との二体に分割されて形成され、車体4に設けられた開口部4aに取付けられている。

第2図は前記嵌着部2を示すもので、例えばポリアミド樹脂（通称ナイロン）などを用いて形成され、車体4に設けられた装着のための開口部4aの径に嵌合する外径を持つ円筒状部2aと、この円筒状部2aの周縁部に設けられたフック状継合部2bと、前記円筒状部2aの端部に設けられ該円筒状部2aよりも大きな径に形成された鐐状部2cとが設けられ、このとき前記フック状継合部2bは図示のようにスリットなど適宜な手段で前記開口部4aに挿着可能とされ、更に前記フック状継合部2bと前記鐐状部2cとの間隔Dは車体4の板厚よりも大きなものとされている。

一方の前記電線保持部 3 には中央部に従来例と同様な適宜数の電線孔 3 a が設けられ電線 5 が挿入されると共に、周縁部には前記嵌着部 2 の鏑状部 2 c を抱込むような形状とされた防水部 3 b が形成され、この防水部 3 b の外周には更に防水効果を高めるために前記車体 4 側に湾曲するブーツ部 3 c が設けられている。また前記防水部 3 c の前記鏑状部 2 c と車体 4 とに挟まれる位置は前記間隔 D と前記車体 4 の板厚との差よりもやや厚めに形成されている。

この様に形成した本考案のグロメット 1 を車体 4 の開口部 4 a に取付けるときは、先ず前記鏑状部 2 c と防水部 3 b とで嵌着部 2 と電線保持部 3 とを一体としておき、フック状継合部 2 b を車体 4 の開口部 4 a に挿入し、更にブーツ部 3 c を圧縮することで前記フック状継合部 2 b は前記開口部 4 a に嵌着されるものとなり、この嵌着後も前記ブーツ部 3 c は圧縮された状態を維持するものとなる。

【 作 用 】

嵌着部 2 を比較的硬質な樹脂部材で形成したことで継合強度が向上し且つフック状継合部 2 b が開口部 4 a に継合するとき作業者に対して明らかなクリック感など手応えを与え、またブーツ部 3 c が圧縮されているようにしたことで防水性も向上する。

【考案の効果】

以上に説明したように本考案によりグロメットを、専らに継合を受持つためのより硬質な樹脂部材による継合部と、専らに防水を受持つための軟質なゴム部材などによる電線保持部とに分割して形成したことで、

第一にこのグロメットを車体に嵌着するときにはクリック感など手応えを作業者に与え作業が終了したことを知らせて不完全な装着が行われることを防止し、

第二に前記した挿着の強度をより高いものとして電線に引張り力が加えられても容易に脱落することを無くして、合わせて防水効果を一層に確実なものにすると云う実用性に優れた効果を奏する

ものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案に係るグロメットの一例を示す断面図、第2図は同じ実施例の嵌着部を示す斜視図、第3図は従来例を示す断面図である。

1 …… グロメット

2 …… 嵌着部

2 a …… 円筒状部

2 b …… フック状継合部

2 c …… 鏑状部

3 …… 電線保持部

3 a …… 電線孔

3 b …… 防水部

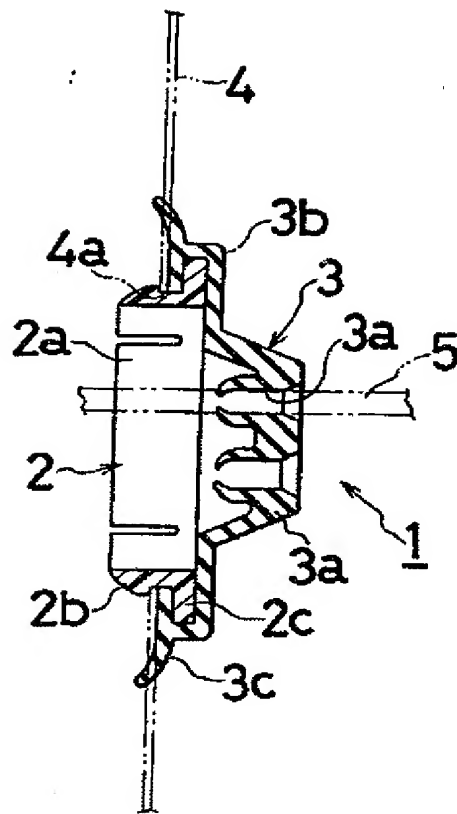
3 c …… フーツ部

4 …… 車体

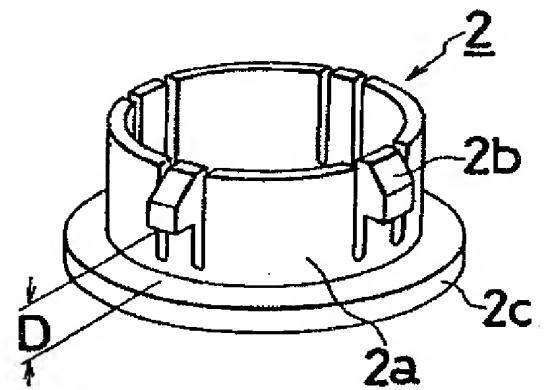
4 a …… 開口部

5 …… 電線

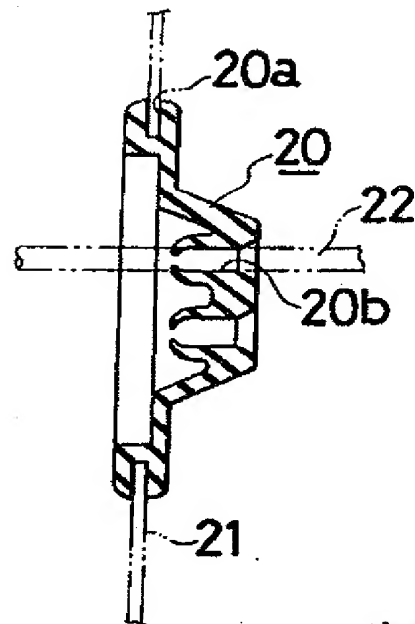
第 1 図



第 2 図



第 3 図



120

実開 63-184513

代理人 教 元 輝 雄
外 1 名